

経済建設委員会会議録

開催年月日	平成 28 年 7 月 15 日 (金)	場 所	議会委員会室
案 件	事務調査第 3 号「農業担い手対策の実態について」		
出席委員	黒岩委員長、石上副委員長、大栗委員、宇治委員、佐藤委員、広瀬委員		
欠席委員		事務局	澤田
オブザーバー		傍 聴 者	
説 明 員			
開 会 時 刻	1 3 時 3 0 分	実 会 議 時 間	1 時 間 1 2 分
		休 憩 時 間	時 間 9 分
閉 会 時 刻	1 4 時 5 1 分	延 会 議 時 間	1 時 間 2 1 分
次 回 日 程	平成 28 年 8 月 8 日 (月) 午後 1 時 00 分現地視察		
要 点 記 録	<p>< 概 要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者の年齢構成は、2015 年、北海道は、39 歳以下 17.2%、65 歳以上 36%。富良野市は、39 歳以下 16.5%、65 歳以上 34.3%。全国では 65 歳以上が 65.2%、39 歳以下が 6.1%であり北海道、富良野とも農業従事者が若いと言える。 ・ 富良野の農家の後継者がいる割合は、富良野地区 19%、東部地区 34.4%、山部 21.1%、東山 25.5%、総体では 4 戸に 1 戸の割合で後継者がいる環境である。 ・ 農家戸数は平成 22 年 713 戸、昨年は 634 戸であり、農家が減っていく戸数と担い手を育てていくことを数字で捉えるべき。だいたい 1 年に 15 件位少なくなっていくデータが出ている。 ・ ある程度の目標とする農家戸数を設定し、絶対これ以上減らしては駄目だということを考えないといけない。減った分の農地を近くの人達が引き取って、拡大・継続営農していくなど先の話で難しい部分もある。 ・ 担い手としての市の考え方はいいと思う。価格面を考えるとミニトマト、メロンはいい。しかし観光と連携した部分を考えてこれでいいのか。 ・ 需要側の方がどんどん減っていても、利益が取れるもの、農業含めて業界全体が食える食えないというのがあるのでその辺の戦略も担い手育成の一方を考えていくべき。 		

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

経済建設委員長 黒岩岳雄